

第3回運賃制度に関するワーキンググループ 議事概要

日時：平成28年5月24日（火）14：00～16：00

場所：中央合同庁舎2号館 国土交通省第2会議室A・B

「運賃改定等に関する最近の動き」及び「環境変化を踏まえた運賃・料金の検討」について、古曳旅客課長補佐より資料説明。委員からの主な意見は以下のとおり。

【運賃改定等に関する最近の動きについて】

初乗り距離の見直しについては、短距離はこれまでより安くなるというが、長距離は逆に少し高くなってしまう。そのことへの対策を早めにとっておく必要があるのではないか。

初乗り距離の見直しは、需要開拓という意味で考えると、タクシーをもっと身近な乗り物としてアピールするには、利用客の多い東京では有効である。困ったらタクシーではなく、この距離ならタクシーという提案をすることによって選んでもらえるようにする。「タクシーは高い」という消費者の既成概念を変えていくきっかけにするにはいい提案だと思う。

高齢者が気軽に使いたい時にタクシーが走っていないと逆効果なので、初乗り運賃の見直しと同時に呼びやすくするとか、拾いやすくするというのを一緒に検討する必要がある。

初乗り距離の見直しで長距離を乗った時に、現状と比べどのくらい高くなるのか分かれるとよい。

初乗り距離の見直しで遠距離通減がないのであれば、説明の仕方を変えることで、消費者に分かりやすくなるのではないかと。

初乗り距離の見直しにより長距離の運賃は従前より高くなるので、それについての周

知は必要。しかし、全体としての利用機会は増えるので、需要が増えることによるプラスの効果をしっかりPRしてほしい。

【環境変化を踏まえた運賃・料金の検討について】

利用者としては、JRの運賃と同じように繁忙期に割増しがあるのであれば、閑散期の割引がセットでないと理解しづらい。

「多様な運賃・料金」を考える前に、旅行商品としてタクシー運賃をどう考えるかを一回整理しないといけない。

2005年5月13日現在国交省のまとめに、規制緩和後運賃の多様化がどのくらい進んだのかを全国的に調査したものがある。今現在、どういう運賃が制度として確立して残っているのか、今後広げる可能性はどういうところにあるのか。

需要と供給の関係でどういう効率のいい運送ができるかという中で運賃も決まってくるが、値上げの時初乗りに上乗せするのではなく、むしろ料金といった部分で付加していくという発想も必要。新しい負担をしてもらう場合には、どういう負担のさせ方が一番合理性があるのかという視点を持たないといけない。

利用者の事情に応じて配車の順番を変更するような運用ができる状態でないと、雨天時割増のようなリアルタイムに運賃を変えて利用者のニーズに対応するというのは難しいと思う。

移動する基本の部分・運賃をしっかり決めて、料金でどう差別化を図っていくか考えた場合、付加的な部分については消費者の理解を得た上で頂かないと、消費者は何のためにお金を払っているのか分からない。

先日発表された1億総活躍プランの中で、特にサービス産業における賃金改善が掲げられているが、賃金をどう改善していくかというときに、基本的には需要喚起と生産性向上をやっけていき、賃金を全体として底上げしていくしかない。その観点から言ったらと

きに、あまりにも横並びの規制が多すぎるのではないか。

情報提供と利用者の同意をきちんと得た上でやっていくのであれば、利用者にとっても便利であり、これが需要喚起や生産性向上につながっていくのであれば、積極的にやっていくべきであり、そうしないとタクシー運転者の賃金は上がっていかない。

可能であれば運賃・料金のメニューに「相乗り運賃」を追加してほしい。バスとの関係でも色々問題があるかもしれないが、相乗りした時に運賃をどのように配分するのかという議論もある。

運転者と利用者がその都度交渉して金額を決めるのは無理なので、アプリを使って機械的に金額を決められるのであれば、事前確定や相乗りも具体的な提案になると思う。

相乗りはよほど消費者のニーズを先回りして予測しないと、地方で行っているデマンドタクシーでも実際に相乗りになっているケースはあまり多くないという事実がある。

スマホを活用した配車が進む中で、そもそも地域公共交通としてのタクシーとはどういうものか考えた時、選べる人間だけが得するようなものが公共交通としていいのか。選んで乗れるサービスは競争すれば良いが、選んで乗れないサービスは競争させないという発想が必要なのではないか。

サービスの多様化の中で料金をどれくらい取っていいという公正なルール設定を考えていけば、ある程度中間的な落としどころが分かるのではないか。

優先配車サービスというものを異なるサービスカテゴリーと考えれば、その中では、申込みの順番に従えば良いとも言えるので、議論が変わるかもしれない。